

## 若年女性<sup>1</sup>に対するオンライン・ハラスメントへの対策に関する提言書

一般社団法人ソーシャルメディア利用環境整備機構様  
会員企業の皆様

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン  
プラン・ユースグループ

### ● オンライン・ハラスメント<sup>2</sup>はジェンダー課題です

日本では若い女性(15~24歳)のうち93%がソーシャルメディアを使用していると回答し、そのうち57%が「頻繁に」、もしくは「とても頻繁に」ソーシャルメディアに投稿すると回答しました。また、4人に1人の若年女性が、ソーシャルネットワーキングサービス(以下、SNS)上で何らかの形でオンライン・ハラスメントを経験していると回答しています。さらに、自分のみならず友人、知人の若年女性を含めると51%の女性がSNS上でのオンライン・ハラスメントをととても頻繁にあるいは頻繁に受けていると回答しました<sup>3</sup>。オンライン・ハラスメントは、女性も男性も被害に遭いますが、若年女性が特に被害者になりやすい特性があるジェンダーに基づく暴力のひとつです<sup>4</sup>。オンライン・ハラスメントの予防策を考える際、ジェンダー視点を交えて検討することでオンライン・ハラスメントの減少につなげることができます。

### ● オンライン・ハラスメントが及ぼす深刻な影響を認識し、加害者をうまない啓発をお願いします

被害防止のための啓発だけでは、根本的な解決に繋がりにくだけでなく、被害者を責める風潮と二次被害を作りかねません。本当に必要なことは、加害を抑制する啓発に力を入れることです。すでにSNS各社のガイドラインで禁止事項が明記されていることは承知しています。より、効果的に加害行為を防止するために、加害行為とその処罰について誰にでもわかるように漫画や動画等を用いたり、タイムラインなどに投稿したりするなど、具体的に分かりやすい説明で利用者に注意喚起を促し、周知してください。

### ● 被害者に寄り添うSNSプラットフォーム作りの検討をお願いします

若年女性はオンライン・ハラスメントに対するSNS企業の関与を強く望んでいることが明らかになりました<sup>5</sup>。被害者の自己責任論が強まると報告しづらく被害が深刻化し、加害行為を助長させる恐れもあります。利用者の気持ちに寄り添うためにも、以下の取り組みの検討をお願いします。

- SNS企業各社で人権に関する社員研修を行い、その取り組みの状況を開示する
- 「#No Heart No SNS」で紹介されている被害にあった時の対処方法をタイムラインやアップデートを利用して、周知を徹底する
- 被害者が加害者に責任を追及しやすいように、請求された情報の開示を迅速に行う
- 通報後のプロセスや違反行為に該当する基準を公開するとともに、通報者への丁寧なフィードバックをする
- ジェンダーや交差性に起因するハラスメントの実態把握のため、細分化されたデータを収集し公開する

### ● 新しいルールやSNS機能の作成と早期適用をお願いします

- 加害行為を抑止するために、アカウント作成時に、個人情報(例:電話番号)などを登録義務化して、無制限にアカウントを作成できないようにする
- 犯罪行為(盗撮、痴漢、名誉棄損、脅迫など)を示唆する内容の投稿をするアカウントを停止させ、同じ個人情報では二度とそのプラットフォームが利用できないようにする
- AI(人工知能)で不適切な言葉を認識して、不適切な言葉を書けないようにする
- 加害行為をするアカウントに対してとったアクション(ブロック、コメントの削除)が相手に気づかれられないようにする(加害者はブロックされてもまた新しいアカウントを作って執拗に加害する可能性があるため)
- 他の利用者からの通報数が一定数を超えると、そのアカウントからコメントやDM、引用リプライができないようにする

<sup>1</sup>「若年女性」とは、本紙では15~24歳の女の子と女性をさす。

<sup>2</sup>「オンライン・ハラスメント」をプラン・インターナショナルでは次のように定義しています。「インターネット/モバイルテクノロジーを利用して実行され、ストーキング(付きまとい)、いじめ、ハラスメント、名誉そん、ヘイトスピーチ、搾取、迷惑行為をさす」

<sup>3</sup>プラン・インターナショナル(2020) 若年女性へのジェンダーを理由にしたオンライン・ハラスメントに関する調査結果日本の調査報告書

<sup>4</sup>Pew research center(2014) "Online Harassment" によると、18~24歳の若年女性はオンライン上の執拗なつきまとい、セクシュアル・ハラスメントによる被害を不均衡に受けている調査結果が出た。<https://www.pewresearch.org/internet/2014/10/22/online-harassment/>

<sup>5</sup>プラン・インターナショナル(2020) 若年女性へのジェンダーを理由にしたオンライン・ハラスメントに関する調査結果日本の調査報告書